

## 住・農環境整備から地域づくり

新年あけまして

おめでとうございます

八方原地区の皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。平素は八方原の環境を守る会の活動に多大なご理解とご協力を賜り感謝に堪えません。

平成19年にこの事業取り組んではや、12年が過ぎ、13年目に入ろうとしています。この間5年毎の計画を立てて事業に取り組んできました。その中で政権交代での「事業仕分け」などで事業の将来が不安視される時期も

ありました。しかし、多くの成功事例や数多くの関係者の尽力で、「農地・水・環境保全活動」から「農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する法律」として法制化され、安定した制度に近づいてまいりました。

法制度の充実に伴い、関係事業の暫定的な期間延長などがあり、今年度はこの制度になってからの活動計画の最終年ということになります。

共同作業への交付金と、施設の長寿命化への交付金と合わせるとこの間に2000万円を超す交付額となりま

### 白と杵みんなでお餅つき

12月16日、当会の年末恒例となりました餅つき体験大会を行いました。

昨年度より福祉施設「ぬくもり山口」さんのご協力を頂き、白と杵、だいがらを使った伝統的な餅つきを行っています。施設の入居者や、地元の子ども会と一緒に12キログラムのもち米を使った「餅つき」となりました。

杵を使うことや、搗きあがったお餅を揉んで、きれいな形に整えることな

り作業はたくさんあります。みんな服を真っ白にして奮闘しました。

元来、この地区では「餅つき」は「だいがら」で行うものでした。杵を使う餅つきは、テレビや新聞で見えるものではなく、今では餅つきそのものをやらなくなりました。

こうした伝統的な餅つきを披露し、また体験機会を提供することは、意義あるものと考えています。

す。日常的に見慣れた風景ですが、その維持管理のためにいかに多額の資金が用いられているかが分かります。

農業を取り巻く環境は、ますます複雑なものになっていきますが、今後、新たなテクノロジーの導入で飛躍的な生産性の向上が予測されている分野でもあります。得ていうなするあえて言うなら、我々の取り組みにかかっているのかも知れません。

今年も、八方原の環境を第一に考え、水路の整備、改修などの具体的なものから地域の伝統の継承まで、幅広く活動できるように努力してまいります。

平成31年元旦

八方原の環境を守る会  
代表 黒瀬 和美



光が丘から見た八方原地区、広い農地と工場などの事業所エリアが対照的（2018年12月31日撮影）



子どもたちに、杵の持ち方や搗き方を教える

# 農作業の道路をきれいに

八方原地区の農地はおよそ30ヘクタールです。その農地を管理するのに大事なのは農道です。一般生活道としての市道は老人クラブなどのご努力で非常にきれいに保たれています。しかし、農道に関しては、これまで農地所有者の意識に任されてきました。

農事組合法人の活動が盛んになるに従い、所有者の農地管理の意識も次第に希薄になってきます。やむを得ない



農道の路側を中心に作業を開始（平成30年12月22日）

ことかもしれません。次第に路側の泥のたい積、雑草の繁茂という状況になってまいりました。

そこで、八方原の環境を守る会では農道の清掃を実施することになりました。農道は南北に一本600メートル、東西には、3本それぞれ400メートル前後、それに外周の約1400メートルがあります。今回は東西の一番長い金原農道を実施することになりました。

今まで農道清掃は組織的に行ったことがありませんので、どのくらい時間が

## 技術研修で安全な活動

### 日常作業に潜む危険

12月18日、当会のような活動団体向けの研修会が山口市南総合センターで行われました。

今回の研修では安全管理や、作業の技術研修が主体でした。安全管理では農業機械での事故の事例について紹介がありました。特に草刈り機の事故については入念な説明がありました。私たちが日ごろから使い慣れていると思

がかかるのか手探り状態です。どのような道具が適しているかもよくわかりませんが、それぞれ参加者が道具を持ち寄りました。

結果的には、三角クワや窓つきホーモ有効ですが、泥などをすくう平クワや角スコップなども必要であることが分かりました。また草などを取り除く役目と、それらを移動させる役目とのチーム構成が必要であることも分かりました。

今回は、440メートルの農道除草清掃に、17人で約2時間が必要となりました。これらの経験からより効率的な作業方法が見出せそうです。

今後も逐次作業を行いますので、皆様のご協力をお願いします。



メーカーや商社も実演や展示

## チームハッポウ 出場断念

### 第14回山口市駅伝競走大会

山口市駅伝競走大会に、当地区のランニング愛好家の「チームハッポウ」が何年もの間、出場してまいりました。今年度も、出場予定しておりましたが、選手として予定していたメンバーが相次いで出場不能となりました。いろいろ手を尽くして、新しいメンバーの掘り起こしも、試みましたが、どれも不調に終わり、今回は欠場することとなりました。

次年度以降また挑戦ができるように調整してまいりますので、ご期待ください。

チームハッポウ代表

いますが、そうした慣れによる油断が多くの事故を起こしています。

チップソー装着の草刈り機をもって移動する際に肩に担ぐことがあります。その際にはチップソーを必ず「自分の視野の中に置くように」と注意がありました。また健康管理の面からは、強振動の機械操作は一日2時間を限度とすることとされています。これも厳しい内容ですね。

たくさんの技術情報の中から適したものを見つける必要があります。